

# 第5次明日香村整備計画の進捗状況について

---

# 明日香村整備基本方針・整備計画の概要

## 明日香村整備基本方針 S55

- ・生活環境施設の整備
- ・農林業の振興、農村環境の整備
- ・遺跡の調査、史跡の整備等

## 明日香村整備基本方針 H2

- ・生活環境施設の整備
- ・農林業の振興、農村環境の整備
- ・遺跡の調査、史跡の整備等

## 明日香村整備基本方針 H12

- ・歴史的風土の創造的活用
- ・農林業基盤整備等の充実
- ・農商工にわたる総合的な施策展開
- ・生活環境の整備の推進
- ・遺跡調査等の推進

## 明日香村整備基本方針 H22

- ・歴史展示の推進
- ・歴史的風土の維持・向上
- ・歴史的風土等を活用した地域活力の向上
- ・生活環境基盤整備の推進

### 第1次整備計画 (S55~H1)

生活環境、産業基盤等を総合的に整備



小学校校舎の整備

園場整備

### 第2次整備計画 (H2~H11)

健康で住みよい村づくり



健康福祉施設の整備

河川護岸整備

### 第3次整備計画 (H12~H21)

歴史風土を創造的に活用



万葉文化館の整備

明日香夢市の整備

### 第4次整備計画 (H22~R1)

歴史展示の推進



飛鳥京跡苑池の整備

オーナー制度の推進

## 明日香村整備基本方針 (R2.1)

- ①明日香の歴史を体感できる歴史展示の推進
- ②営農環境の基盤整備及び自然的環境の保全
- ③地域の祭礼行事・伝承芸能の継承・発展
- ④明日香らしさが体感できる観光振興
- ⑤村民が定住できる生活環境基盤の整備

## 第5次明日香村整備計画 (R2~R11)

- (1) 国家基盤が形成された明日香の地にふさわしい歴史展示の推進
- (2) 営農環境の基盤整備及び自然的環境の保全
- (3) 地域の祭礼行事や伝承芸能の継承・発展
- (4) 国内外の来訪者が明日香らしさを体感できる観光交流の振興
- (5) 村民が定住できる生活環境基盤の整備

**重層的に育まれてきた多様な歴史文化資源を有機的に連携させ、国内外への訴求力を高めて、明日香の特色を活かした保存・活用施策を展開**



先端技術を活用した歴史展示



農産物加工品の開発



伝承芸能の継承



戦略的なプロモーション



定住の促進

# 明日香村整備基本方針及び第5次整備計画

## 明日香村整備基本方針（R2.1改定）

1. 計画作成の意義
2. 計画の期間
3. 計画の基本的方向

### （1）基本理念

- ① 歴史的風土の再評価と国内外への訴求力向上
- ② 農村環境の動的保存と祭礼行事の活性化
- ③ 農業・観光業の振興による雇用拡大等を通じた定住環境整備
- ④ 先端技術の活用を通じた新たな価値の創出

### （2）整備等の方向

- ① 明日香の歴史を体感できる歴史展示の推進
- ② 営農環境の基盤整備及び自然的環境の保全
- ③ 地域の祭礼行事・伝承芸能の継承・発展
- ④ 明日香らしさが体感できる観光振興
- ⑤ 村民が定住できる生活環境基盤の整備
- ⑥ その他

- （3）諸計画との整合性
- （4）その他の留意事項

## 第5次明日香村整備計画（R2.4.6策定）

- I 計画作成の意義
- II 計画の性格等
- III 明日香村の概況
- IV 整備計画

### 1 整備計画の基本理念

### 2 整備計画の基本的方向

- （1）国家基盤が形成された明日香の地にふさわしい歴史展示の推進
- （2）歴史的風土の維持・向上に向けた営農環境の基盤整備及び自然的環境の保全
  - ア 明日香にふさわしい景観の形成
  - イ 農業の活性化
  - ウ 樹林地の景観のマネジメント
- （3）歴史的風土の維持・向上に向けた地域の祭礼行事や伝承芸能の継承・発展
- （4）国内外の来訪者が明日香らしさを体感できる観光交流の振興
- （5）村民が定住できる生活環境基盤の整備

### 3 整備内容

- V 計画達成のための留意事項
- VI 計画達成のための推進体制

# 1. 国家基盤が形成された地に相応しい歴史展示の推進

## ア. 明日香の歴史を体感できる歴史展示の推進

### <取組状況・成果>

- 特色ある八角墳を再現した牽牛子塚古墳の整備及び、越塚御門古墳石室内で飛鳥時代に活躍した人物の時代背景にスポットを当てた解説映像を映写。
- 飛鳥地域（日本語）プロガイドを創設し、飛鳥の魅力を発信できる人材の発掘と育成を実施。
- 飛鳥宮跡の整備に向けた基本計画検討及び飛鳥京跡苑池の新たな重要遺構に対する設計見直しや池泉の復元整備に向けた技術的課題の検討。



プロガイド養成講座



飛鳥京跡苑池の整備の検討



牽牛子塚古墳の整備（令和3年度末完成）

### <課題>

- 国、県、村の三者の既存施設が連携し、明日香村の全体が理解でき、ストーリー性のある歴史展示が必要。
- 残りの公有地化の実施に加え、高松塚古墳壁画の公開も含め、国、県、村の三者の連携による取組の推進が必要。
- ARやVRによる個々のコンテンツの充実とメタバース空間の活用などによる全体が理解できる仕組みづくりが必要。
- 中尾山古墳等の特色ある墳丘及び石室の公開・活用に向けた検討が必要。

# 1. 国家基盤が形成された地に相応しい歴史展示の推進

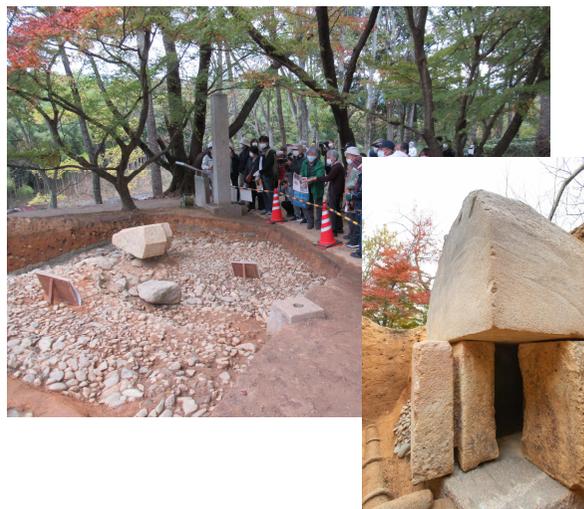
## イ. 歴史文化資源の計画的調査・ウ. 世界遺産登録の実現と国内外への情報発信

### <取組状況・成果>

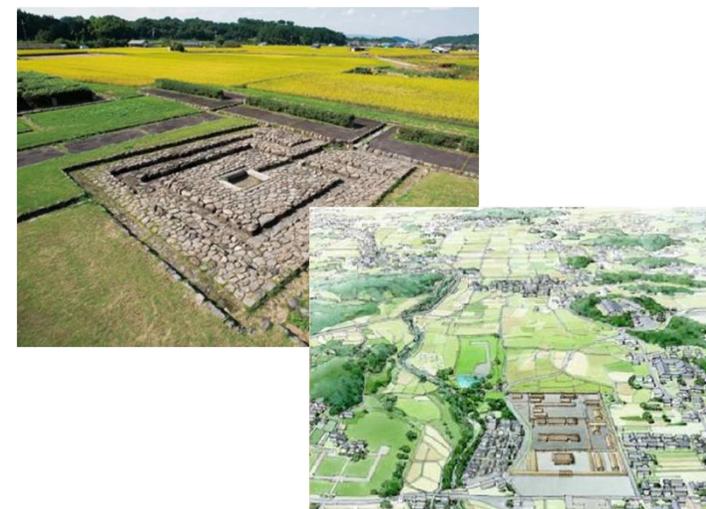
- 日本の国家形成過程の解説や歴史文化資源の見える化整備に向けての基礎となる、継続的な発掘調査とあわせ、現地見学会を実施。（甘樫丘遺跡群:481㎡、中尾山古墳:200㎡など）。
- 世界遺産への早期登録を目指し、構成資産の保護措置（史跡追加指定等）の充実など推薦書提出に向けた取組を推進。
- 飛鳥宮跡などの史跡指定の追加を行うとともに、飛鳥宮跡保存管理活用計画を作成。



学生と連携した発掘調査の様子  
（中尾山古墳発掘調査：200㎡の発掘）



発掘調査現地見学会の様子（中尾山古墳）



飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」の登録推進  
（中核的な構成資産となる飛鳥宮跡の整備の検討）

### <課題>

- さらなる飛鳥の価値や魅力を解明するために、村内に多く存在する埋蔵文化財の未発掘調査エリアの、国・県・村が連携した計画的かつ重点的な継続調査が必要。
- 発掘調査員・発掘作業員等のマンパワーの確保等が必要。
- 世界遺産登録の価値をわかりやすく表現し、現地の資産等と合わせて理解してもらいやすい情報発信の検討が引き続き必要。

### ア. 明日香にふさわしい景観の形成・イ. 農業の活性化・ウ. 樹林地の景観のマネジメント ＜取組状況・成果＞

- 建築物修景の継続的支援により、住民の飛鳥保存に対する意識向上と集落景観の維持・継承に寄与。
- 古都法に基づく買い入れ地についての利活用のためのガイドラインの検討を実施。
- 農業の担い手確保に向け、省力化野菜の実証栽培を行うとともに明日香村内での就業に向けた研修を実施。
- 農業戦略を作成し、戦略的な作物の試験栽培や加工品の開発、販路拡大を実施。
- 農地におけるオーナー制度の導入による多様な団体等（棚田オーナーや一本木（みかん）オーナー等）との連携等を実施。
- 有害獣の捕獲専門員の設置などによる獣害対策と荒廃した竹林の整備を実施。



建築物の修景



省力化作物の実証栽培（つぼみな・ツルムラサキ・タアサイの実証栽培）や高付加価値化米の販売（高付加価値化米「あかねさす」）



オーナー制度の推進（棚田オーナー）

### ＜課題＞

- 飛鳥宮跡から見渡す空間や飛鳥川などの放棄竹林の解消及び万葉集に詠われた景観を感じられる空間づくりが必要。
- 里山景観の創出を行う担い手の確保や、農地の水量管理など新たな技術による営農者負担の軽減検討が必要。
- 各種オーナー制度等における、インストラクターの高齢化による受入体制の脆弱化。
- 小規模多品目の地域であるため収穫量等が少なく、販路拡大のニーズに応えられない状況。

## 歴史的風土の維持・向上に向けた地域の祭礼行事や伝承芸能の継承・発展

### <取組状況・成果>

- 明日香村の民俗文化財を記録した動画を配信等の取組を実施。
- 明日香を発信できる人材育成として、幼小中一貫教育による「明日香学」を開講し、郷土学習を継続して実施。
- 飛鳥時代の世界との交流が分かる「伎楽」の再現を目指してワークショップを実施。
- 農業をテーマとするイベント「彼岸花祭り」の継続した支援。



南無天踊り実演の様子



伎楽に関するワークショップの実施や小学校での郷土学習の実施（明日香小学校）



伎楽の復元想像図

### <課題>

- 明日香村内の有形・無形の民俗文化財の保存、継承には、地域の活性化、担い手の拡大が必要。
- 伝承芸能などの指導者の高齢化対策と、郷土学習や生涯学習に用いる地域教材の内容の検討が必要。
- 伝承芸能等の文化を継承するために、観光事業との積極的な連携が必要。
- 世界遺産登録に向けて、飛鳥時代の国際交流が分かる「伎楽」の再現などが必要。

## ア. 滞在型・体験型観光の推進及び受入環境の整備 ・ イ. インバウンド観光の推進 ・ ウ. 戦略的観光プロモーションの推進

### <取組状況・成果>

- 駅前での情報発信拠点の整備や観光サインの整備（西明日香周辺サイン）等を実施。
- 空き家等を活用し、来訪者が歴史をゆっくり味わうための宿泊施設や歴史探索で一息つけるカフェなどの商業施設設置支援を実施。
- 明日香村の魅力を伝える体験プログラムや旅行商品を造成するとともに、観光協会を中心とした情報発信やInstagramなどSNSを活用した情報発信を実施。
- 観光戦略を作成し、戦略的なプロモーションや、観光閑散期に農商や交通事業者等と連携した「いちごキャンペーン」を実施。



駅前での情報発信拠点の整備（飛鳥びとの館）



ブランシエラ ヴィラ 明日香  
(築約150年の古民家を再生したホテル)



飛鳥時代の歴史を体感するツアー（サイクリングツアー）やタブレット端末の活用

### <課題>

- 設置から40年が経過した17kmに渡る周遊歩道の老朽化と社会情勢やユニバーサルデザインに対応した整備検討が必要。
- 観光来訪者の年間を通じた平準化に向けたプロモーション検討や、村が目指す、ゆっくり滞在し明日香村を堪能するイメージや情報の発信が必要。

# 5. 村民が定住できる生活環境基盤の整備

## ア. 安全安心な生活環境基盤の整備 ・ イ. 住みよい生活環境づくりと雇用環境の創出

### <取組状況・成果>

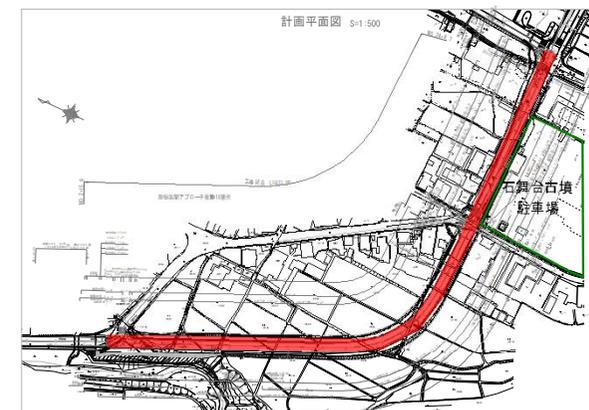
- 狭隘区間の解消を図るため県道多武峰見瀬線(島庄工区)のバイパス整備に向けた設計や用地取得等を実施。
- 橋梁の定期点検・補修工事、河川整備(飛鳥川等)を実施。
- 防災拠点及び地域コミュニティの拠点となる新庁舎の整備を実施。
- 空き家を活用し、既存集落への定住を進めるため、空き家バンク制度による支援を実施。
- 移動手段として、既存の周遊バス運行に加え、AI活用によるデマンド型乗り合いタクシーの実証運行を実施。
- 村に関心を持つ企業を誘致し宿泊施設等を設置するため、地区計画等の作成や事業推進のための支援を実施。



地域コミュニティの核となる役場庁舎の整備



あすかデマンド乗合交通



バイパス設計図(仮)  
(県道多武峰見瀬線(島庄工区))

### <課題>

- 道路整備において、用地取得の難航や、景観や史跡等に配慮した上で安全性を保つための線形の難しさが課題。
- 空き家の高額な改修費負担や、必要とされる物件のサイズなど利用者ニーズと物件の不一致が課題。
- 地域交通について、住民、来訪者双方にとって利便性の高い交通システムの検討が引き続き必要。
- 企業等に対し、明日香村で取り組みを行うことのハードルの高さを理解してもらうことに労力が必要。